

下田南地区振興会だより 会報 小田床

■発行 第56号■
【発行責任者】
下田南地区振興会
会長 中村敬司
【連絡先】
下田南地区コミュニティセンター
42-3612

静かな一年の始まり

下田南地区振興会 会長 中村 敬司
本年は、いつになく静かな年の始まりでした。小田床の皆様、離郷者の皆様、本年もよろしくお願い致します。

昨年はコロナに始まり、そのお陰で予定された行事や活動が中止・延期となり、地域の一大イベントである敬老会も中止せざるをえませんでした。現在も増え続け菅政権のGOTOトラベルが一因であることは否めません。仕方のない事ですが、成人式も中止となりました。コロナがなくなるとは思えません。早くワクチンを開発し高齢者はじめ皆に予防接種を行い、インフルエンザのように共存していく日が来ることを願っています。

下田南地区営農改善組合が設立されて2年が経過します。

2月には水田地権者や住民出資者により「天草ごとこ農事組合法人」が設立されます。へ集落営農を通して、地域を活性化するが基本理念です。白石憲博事務局長が日夜奔走し、設立に向けて準備しています。小田床の田園風景は、地域の皆さんと守り、集落営農を通して、地域の活性化を目指し



ています。法人化に当たり、トラクター等、自前の農業機械の購入も行います。稲作だけでは経営が成り立ちませんが、小田床の将来の為に、今できることを行っています。別紙で寄付の依頼があるかと思いますが、皆様にも支援して頂ければ大変有り難いです。

本年は、コロナの影響でいろいろな社会活動が制限されていますが、健康第一です。お互いコロナに感染しないよう気をつけましょう。早く帰省や遠方への往来が出来ることを願っています。

しめ縄を新調しました！

新春の候、皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より小田床菅原神社に対しましてご理解ご支援等賜り誠に有難うございます。

さて、令和2年度は、これまで経験したことのないコロナ禍の中で、他のイベントなどと同様に、秋の例大祭をはじめ関連行事等もやむを得ず中止及び縮小せざるを得ない状況となりました。今年こそは普段の生活が早く戻ってくるように願うばかりです。

こうした中で、ご存知の方も多いかと存じますが神社の鳥居にかけてありましたしめ縄を新調させていただきました。

古くから小田床菅原神社の正面鳥居には、立派な大しめ縄がかけられていました。その長さ40尺(約12・12メートル)を秋祭り1週間前の日に、中村白石地区の住人で集まり、男衆は藁打ちから始まり女衆は縄を太くするために「しめ子」を作って、午前中かかって作っていました。それに、稲荷様のしめ縄、御殿と拝殿を囲むしめ縄も作っていました。

しかしながら、年々過疎化と高齢化が進み、次第にその作業が難しくなってきたのが現状です。

そこで、総代会でこれまでの総代長様方のご助言をお聞かせいただきながら、新しいポリエチレン製のしめ縄(正面鳥居用1本 稲荷神社用1本)を購入することになりました。

ただ、一年を通してかけておくことは、紫外線等によるしめ縄の劣化が懸念されることから、例大祭期間、お正月の期間などに限定して飾ることにいたしました。どれくらいの耐久性が有るのかははっきり分かりませんが、大事にしていきたいと思っています。なお、購入に際しましては令和2年度皆様方からいただきました「割り」等を当てましたので心より御礼申し上げます。

以上ご報告まで。

伊野



球技大会について

例年、体育の日に実施していた球技大会ですが、今年は体育の日がない(オリンピックの影響ですね)のと、コロナ対策で計画がずれ込んだのとで、12月6日に開催しました。師走に入っているのですが、寒くないか心配しましたが、当日は晴天に恵まれ、気温も高く、絶好のグラウンドゴルフ日和でした。

受付時の体温測定、マスクの着用など、感染予防にもご協力いただきました。

毎年のことながら、珍プレー好プレーの連続で、あちこちで歓声が上がリ、そのたびに「誰だ?」と皆さん、よそのチームのプレーも気になる様子。

日頃から技を磨いている方も多いことから、採点・集計に間違いがあつてはならないと、担当者は気を張り詰めてスコア表とにらめっこしておりました。

区対抗なので無情にも順位が付きますが、どの参加者も100点満点!と温かい講評もいただいで、今年も無事に、事故やけがなく終了しました。

振興会行事の中でも特に参加者

が多いイベントなので、皆さんの笑顔を見ることが出来て、コロナ禍にも心がほっこりしました。

皆さん、是非来年も奮つてご参加ください。この球技大会の時ではないとグラウンドゴルフをしない、という方は、来年に向けて練習を始めてはいかがでしょうか?

球技大会の結果

団体

優勝	佃浜区
2位	中央区
3位	鬼海区

個人

1位	中上 靖
2位	鬼海長康
3位	中村 優



ミニバレー大会開催

11月14日ミニバレー大会が開催されました。万全のコロナ対策の元、26名の参加者があり4チームに分かれ、総当たり戦で優勝を競いました。日頃から腕を磨かれている方この日だけプレーされる方入り乱れの白熱の戦い。あまりに白熱すぎて、途中で時間が足りなくなり、最後は得点差で順位付け。結果、優勝は鬼海高広さんチームとなりました。おめでとうございます!ゲーム終了後の豪華賞品抽選会も大いに盛り上がり、大会は無事終了。いや〜体動かすのつて本当に気持ちいいですね。

次回大会も是非参加したいと思えます。

生田達三



おねっぽぽを開催

家内安全 危よけ祈願

1月10日(日)午前9時から、雪がちらつく寒い中、旧下田南小グラウンドに於いておねっぽぽ（鬼火焼き）を開催しました。地域づくり部会員と住民の皆さんたちが竹で組んだやぐらを燃やし、今年1年の家内安全、健康を祈願し、お神酒と餅でいい気分になりました。旧小学校舎横では、ブルーガーデ

ンのチャンポンもいただき、皆さん思い思いに楽しんでおられたようです。（参加者64名）



令和三年 年男になりました。

「正月（門松）や冥土の旅の理塚 めでたくもありめでたくもなし」という短歌がありますが（一休さん作）歳を重ねる度にこの思いが深くなります。

昭和十二年に生を受けこの地で育ち、青年団から老人会までの様々な要職を無事（？）務めてまいりました。今振り返ると様々な情景が浮かび感慨もひとしおでござい

天満宮の祭が昨年中止となりました。

「コロナ禍のせいとはいえ、何か淋しいような忘れ物したような感じ」です。そこで御祭神菅原道真公について歴史をひもといてみました。何故道真公は神様として奉られる事になったのでしょうか？

それは、ライバルの藤原氏が道真公の死後「道真公を神として奉ろう」と動き出したのが始まりであると伝えられています。

平安時代の事です。京都に生まれた道真公は文武両道の才能がありました。政界にも進出し様々な活躍をし天皇の信頼も厚く、ついには右大臣にまで登りつめました。その時の左大臣が藤原氏でありま

ざいます。これも地元の皆様の指導、ご協力によるものでございました。改めて感謝申し上げます。昨今同年輩の友人、隣人が亡くなり寂しい限りですが、自分の目標としては八回目の年男を迎えるまで頑張るつもりです。心身の鍛錬を怠らずに後十二年日々精進していく覚悟であります。無理かな？

入口武宣

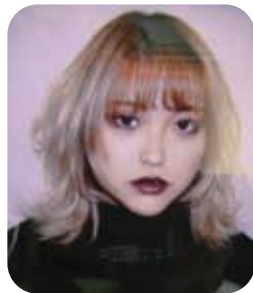
して、道真公のスピード出世が脅威であつたと考えられます。そこであらう事が道真公に無実の罪を着せるのであります。九州の太宰府に左遷された道真公は失意の内にも清く正しく生きましたが二年後に亡くなるのであります。その後京都では天変事変が続き壊滅の状態であつたそう。その時歴史が変わった、とてもいいですが、自分に負い目の有る藤原氏が「道真公のたたりであろう」とその恐怖心から道真公を神にまつりあげ、天満宮を創建。その後日本各地に建立し、現在国内での天満宮の数は一万二千社あるそうです。白石宣子

成人おめでとう ございます。



佃 歩佳

いつも暖かく見守ってくださる地域の皆様や家族のおかげで成人を迎えることができました。



上野 真彩

今年1月に20歳になり成人となりました。

なった実感は、まだありませんが、何処に居てもこの自然豊かな天草で育ってきた事を誇りに思い、20年間大切に育ててくれた父母、祖父母に感謝し、これから先、大人として夢に向かって頑張りたいと思います。

台風被害状況

昨年9月2日東支那海を北上した台風9号で、当地区は甚大な被害をこうむりました。

川を遡ったプラスチックゴミは、佃付近まで到達。海浜公園の芝生に、打ち上がった大きな石がゴロゴロと転がっている状況。達磨反し跡付近道路から、新波止にかけて、大きな爪痕を残しました。

13日の海岸清掃には、南と鬼海合わせて70名程参加。ほぼ住民総出となり、地区の団結力を垣間見ました。

尚、天草市役所の深見支所長の話しによると、「小田床漁港の災害復旧工事は、今年9月末までに完了予定」とのことでした。

野口眞澄



こぎとこ

イルミネーション

今年も若松米雄地域づくり部会長さんが腕を振るってくれて、素敵なイルミネーションが完成しました。

6匹のイルカが西海岸の夕陽に向かって悠々と泳いでいます。沿道の人や行き交う車の人の心を和ませてくれます。

白石明美



下田南のデータ

世帯数 91
人口 178人
(男79人、女99人)
高齢化率(65歳以上) 94人
52.81%
(令和3年1月31日現在)

新年あけましておめでとうございます。
昨年、新型コロナウイルス感染症に伴い、多方面にわたり自粛規制が行われ例年通りの祭事やイベントが中止となり大変さみしい思いをいたしました。一刻も早く、いつも通りの生活ができるように願うばかりです。
さて、本年の目標として小田床湾でレンタルボート(推進力2馬力未満・船舶免許不要)事業計画を掲げます。改めてこの事業計画を発表させていただきたいと存じますので宜しくお願い申し上げます。
小野貴郁

編集後記

ありがとうございます

ふるさと応援寄付金

中上 隆臣 様
白石 恭章 様

他9名 様

善意の寄付金

橋本 礼子 様
橋口 恵子 様
倉田 貞子 様